

## 裾野麗峰山の会山行報告書

文・浜道久美子 写真・後藤、浜道

山行番 NO. 1571  
日時 2013. 11. 17 (日) 強風・快晴  
山域 富士山富士宮口八合五勺  
標高差 上り=富士宮口五合目約2400m-八合五勺約3350m=約950m  
下り= 同上  
参加者 後藤隆徳、小松眞明、浜道久美子、掛橋智美、庄野 修(東京)=5名  
コース 富士宮口五合発6:40-新六合-六合8:13-七合9:19-八合10:21-八合五勺(今回最高地点)11:08-雪上訓練-五合目13:09-御体内温泉

県道富士公園太郎坊線(富士山スカイライン)は11月24日正午から冬期閉鎖になる直前の山行だ。(その後、状況積雪等、状況が変わり18日14:00から閉鎖となった)

今年は富士山の初冠雪は10月19日、例年より19日、昨年より37日遅かった。上部に少しあった雪が14日の寒波でいきなり、宝永山の下まで真っ白になり驚いた。真綿をふわっと被せたような富士山はとても美しい。

前日から、富士宮口五合目に入る予定だったが、後発のタイヤが間に合わず、全員当日の出発となった。ただ、今回一緒する杉並のSさんは前日に富士宮口五合目に到着して、富士山スカイラインの雪の様子を連絡してくれた。除雪もしてあり、大丈夫のようだ。

この朝、三島の最低気温は6.3℃。富士山山頂の最低気温は-13.6℃。平均値でも-11.7℃。五合目は冷たい。氷点下だったと思う。道路には思ったほど雪は無い。CLは10年振りにスタッドレスタイヤを新調し初下ろしだった。あと10年は雪山に行けますね。

厳冬期の冬山装備を装着して、富士宮口五合目を6:40出発。最初からアイゼンを履いて上りだす。下部の雪は柔らかい粉雪だ。五合すぐ上で、積雪が30~50cmはある。雪をキュキュと踏みしめて感触を味わう。太陽が富士山を照らし出すと一面銀色の世界で、ダイヤモンド・ダストがきらきらと美しい。富士山のガレ場が見えなくなるのが何より嬉しい。駿河湾方面に目をやると薄らと雲海が覆っていて何も分からない。富士山は別世界だ。





冬富士登山は、「無風、快晴、高温」で、霧が出なければ最高だが、富士山ならではの風が、六合目辺りから顔に吹き付ける。早速、目出し帽で耳を覆い 風対策をした。六合目、七合目と休憩を取り、だんだん強くなる風に閉口する。山肌の新雪が波を打っていたり、風に飛ばされて雪煙が舞っていたり、自然の威力を見せつけられる。

うっすらと昨日以前のトレースはあった。先頭のCLは3日前に「四国お遍路」から帰ってきたばかりで、疲れが取れていない。途中、Sさん、K嬢とトップを交代しながら前進する。K嬢は若さで速い。

八合目の小屋に着いた頃は暴風で、疲労が何倍にもなる。常時20m、時々25mくらいとのこと。五合目からは4時間掛かってしまった。ただ、眺めは愛鷹山、遠くに箱根と抜群で心は晴れ晴れする。ここで、後ろから来た2名の単独行に抜かれた。

「これより奥宮境内地」の看板を見て上る。八合五勺の鳥居がすぐそこに見える。そこからは八合目以前の風とまったく異なり、暴風は容赦なく体を叩き付ける。地形が尾根上で西風を真面に受けるからとLの説明。

ピッケルをしっかり刺しバランスを崩さないように足を運び、アイゼンで雪を捕える。低姿勢で風に向かっていく。30分風景を見ることなくただ黙々と上るとそこには、八合目の



強風の登行



八合五勺

小屋から見た鳥居があった。八合五勺、頑張りました！CLの指示でこれ以上は強風で危険・無理ということで頂上は断念して下ることになった。初の本格的雪山挑戦のK嬢も満足気だった。良く頑張りました。単独行2人も程なく降りて来た。今日は全く贅沢な富士山で、この山にいるのは、我々5名と単独行2名に7名。観光客はゼロだった。この時期とは言えこれは珍しいことだ。

杉並のSさんも、ご満悦だったように見受けられた。昨年6月にKさんと私が、初めて富士山頂に登った事を思い出す。あの時の苦しかった事だけが鮮明に思い出される。6月なのに雪と強風。CLは富士山の気象は行って見ないと分からないとよく言うが、その通りと毎度思う。

富士山の雪山訓練は本格的な訓練になったが、下山途中、六合目あたりで滑落防止訓練等も実施した。シーズンの初めに大雪の富士山で体を慣らすことが出来たことを有難く思い、CLに感謝。参加者の皆さんに感謝です。今シーズンも楽しくやりましょう。

#### その他の記述（L後藤）

1. 本来の計画は、24日だった。道路閉鎖予定は25日。虫が知らせた訳ではないが、一週間早めて正解だった。当局のこのような臨機応変の措置は自然が相手だけに、この時期しばしば

あるので要注意。いつ上るかは、経験的判断が必要だ。

2. 下のゲートには、木製の「馬」が4脚道路を塞いでいた。当然、我々はどかして入ったが、一般車両はUターンする車もあった。お蔭で観光客はゼロ。除雪し通行OKだから開けて置けばと思うが、当局の気持ちは分からない。除雪費用は数十万円だろうが、有難いと思いつつも、何とも複雑な気持ち。
3. 単独行2名の1人は昨日、滋賀から来たといった。なかなかスタイルのいい方だった。
4. 本格的冬富士は、初めての方が多かったので、なまじ好天より効果的な訓練だった。

以上

